

地方創生推進交付金対象事業に係る検証結果一覧
(各取組の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

事業名	各取組名	担当課	事業概要	事業費 (円)	交付金充当額 (円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				現状のKPI 参考値 (事業開始前)	H31.3末後における実績値 ・実績値(H30年度) ・増加分(累計)	本取組の評価等 評価における 意見・理由等	実績値を踏まえた取組の 今後について	
						指標	指標値【増加分】 (3年度分の合計)	単位	目標年月				今後の 方針	今後の方針の 理由
クルーズシティ木更津プロジェクト ～東京湾の新たなクルーズ拠点を目指して～	木更津港を 活用した大 型外航クルーズ船誘 致業務	観光振興課	木更津港木更津南部地区木更津ふ頭G・H岸壁における発着港としての受入可能性の検討や外航クルーズ船社への誘致活動、2020東京オリンピック・パラリンピックを見据えたホテルシップ事業、フライ&クルーズの検討を行いました。	14,987,700	7,493,850	KPI①	観光入込客数	212	万人	R2.3	1,793	2,020 276	事業・ 取組の 継続	木更津港への大型外航クルーズ船寄港や東京オリンピック競技大会開催時の「ホテルシップ」誘致実現に向け、継続的かつ積極的な誘致活動や招聘を実施していきます。 また、クルーズ船寄港時に見込まれる訪日旅客による観光入込客数の増加を目指すため、市内観光施設(三井アウトレットパーク木更津・イオンモール木更津・龍宮城スパホテル三日月等)や体験型施設(ブルーベリー摘み・すだて等)のPR活動を行います。
						KPI②	大型クルーズ船の寄港数	14	隻	R2.3	0	1 1	事業・ 取組の 継続	木更津港への大型外航クルーズ船寄港や東京オリンピック競技大会開催時の「ホテルシップ」誘致実現に向け、これまでの国内や中国(上海)事務所に加え、欧米の本社を訪問しての誘致活動や木更津港への招聘を継続的かつ積極的に実施していきます。 これらにより、クルーズ船の寄港実現を目指します。 また、クルーズ船寄港時に見込まれる訪日旅客を円滑に迎えられるよう、クルーズ船寄港時のおもてなし組織作りを実施し、本年9月に3年連続となる入港が決定した客船「ばしふいつくびいなす」でのおもてなしを実施いたします。
	内港周辺地区都市公園及び交流厚生用地等検討業務	産業振興課	木更津内港地区の公園等に進出を希望するディベロッパー数社を対象にヒアリングを行い、公園での公募設置管理制度の活用を目的として、公募の条件等の整理などを実施しました。	15,000,000	7,500,000	KPI③	訪日クルーズ旅客による推計消費額	2,224,000	千円	R2.3	0	0 0	事業・ 取組の 継続	木更津港への大型外航クルーズ船寄港が実現した際のクルーズ旅客の受入窓口となる内港周辺地区の海辺の公園等に、民間事業者の集客施設整備をすることで、訪日クルーズ旅客受入による消費が見込めるため、昨年度のヒアリング結果を元に、公募の条件を策定し、募集提案の選定に繋がっていきます。

地方創生推進交付金対象事業に係る検証結果一覧
(各取組の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

事業名	各取組名	担当課	事業概要	事業費 (円)	交付金充当額 (円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				現状のKPI 参考値 (事業開始前)	H31.3末後における実績値 ・実績値(H30年度) ・増加分(累計)	本取組の評価等 評価における 意見・理由等	実績値を踏まえた取組の 今後について	
						指標	指標値【増加分】 (3年度分の合計)	単位	目標年月				今後の 方針	今後の方針の 理由
「里海」×「里山」×「街なか」資源の相互連携による地域活性化プロジェクト	木更津版DMO運営業務	観光振興課	「木更津版DMO」となった(一社)木更津市観光協会に対して、マーケティング調査やその他運営にかかる費用に充てるための補助金を交付いたしました。	32,246,000	14,614,500	KPI①	着地型観光商品の開発による旅行受入者数	1,250	人	R2.3	0	530 530	事業・取組の継続	継続的なマーケティング分析や関係者との意見交換、モニターツアー等を通じて、本市に対する観光需要や課題等を抽出し、市内外問わず多くの方に本市の魅力が伝わるような観光商品づくりに取り組みます。 また、食・歴史文化・インバウンドの各部会を木更津版DMO内に設立し、事業者間が連携しながら商品開発等を通じたプロモーション活動を展開していくことで新たな旅行者受入を図ります。
						KPI②	大規模集客施設を除く年間観光入込客数	74,000	人地点	R2.3	987,000	2,774,354 2,730,172	事業・取組の継続	引き続きRESASを活用したマーケティング分析の動向を踏まえ、観光マーケティング視点で地域資源の見直しや情報発信手法の磨き上げを行うとともに、沿岸部のみを目的として本市を訪れる来訪者を内陸部へ回遊させるための観光商品作りに取り組みます。 また、千葉大学との連携による里海・里山地区のサイクルマップ作成を通じてブルーグリーンツーリズムを促進していくことで、観光地の更なるブランディング向上を図ります。
						KPI③	人口の社会増	289	人	R2.3	732	612 -120	事業・取組の継続	引き続き、大学との連携により木更津ならではの立地や風土、体験や地域住民との交流を取り入れた地域づくり型体験・観光・周遊コンテンツを造成します。 その中で、地域の優れた技と人が輝く場を提供し、木更津に住みたい、住み続けたいと思う意欲の醸成に繋がっていきます。 また、東京湾アクアラインを利用した都会からのアクセス性を、観光商談会やイベント等で積極的にPRします。